

令和2年度
ヨロナ禍

定時総会中止に

令和元年度事業報告及び決算報告・令和2年度事業計画案及び予算案＝本部役員会で承認



発行人
静岡市葵区田町7丁目90番地
TEL (054) 221-7030
静商同窓会
編集
静岡同窓会
広報委員会
題字 赤石文男氏

第33号

令和二年六月開催予定であった定時総会は、新型コロナウイルスの感染防止のため中止となった。当初は九月開催を模索したが、コロナの収束が見えず総代会・定時総会ともに開催を断念。本部役員会で議案を審議し総代各位に送付した。その資料を抜粋して掲載した。

ご挨拶

同窓会長 赤石文男

世の中のであらゆる場面で活動が制限され、社会の活動が止まっています。この時だから解決出来る問題もありま。一昨年「静商：歴史と文化の足音」をテーマに掲げ百二十周年記念事業を展開しました。テーマを考えた時、静商の財産は・先輩が積み上げ、歩んできた伝統・文化でありその一歩一歩が歴史であるという思いからテーマを設定しました。

これからもこのテーマを学校・同窓会が共有して新たな歩みを進んで欲しいと思います。

令和元年度総務委員会報告

総務委員長 佐藤 若江

令和元年度事業報告

今直面する問題は財務問題です。百周年で積み立てられた一億円の基金も年々減少し今年度は四千万円を切るころまで減少し、あと十年程で繰越はゼロになります。三年前から財務委員会を立ち上げ単年度収支均衡を目指して予算が組めるよう考えて参りましたが具体的な方策もないまま進んできました。本年度、本部役員会で会費値上げの承認を戴きましたが現状の社会情勢での値上げを一年間見送る事に致しましたが来年度からは総会懇親会会費の値上げも含め実施したいと思います。

三年前第63回卒の吉原様から話があり学校のグラウンド整備をして欲しいとの要望がありました。多年に亘りこの問題は懸案事項として繰り返されてきましたが、場当たり

整備したい」との思いから、吉原委員長が先頭に立ち令和二年七月十七日「グラウンド等整備実行委員会」が本部役員会で承認されました。年末年始にかけて改修が完了するよう進めて参ります。

同窓会の目的は「会員相互の親睦」と「学校の後援」を行う事と有ります。卒業生は毎年入会金を払って同窓会に入会して戴いています。現役生徒の環境整備の為に、学校と協力して支援活動するのは同窓会の役目です。皆様のご協力をよろしく願います。

令和元年度組織委員会報告

組織委員長 古牧 清孝

組織委員会は、事業計画に基づき組織の強化を目標として活動しております。

令和元年度事業報告

・ブロック長、各委員におい

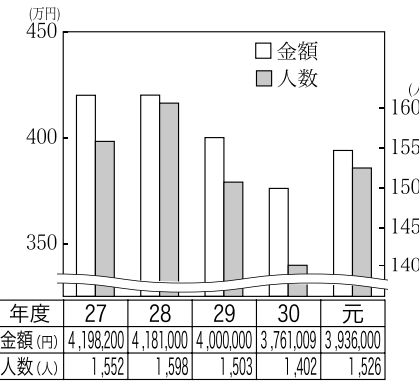
令和元年度事業報告

一、元年度会費目標額
五、〇〇〇、〇〇〇円
目標を達成するように各回に協力をお願いし、会費納入目標額を達成した回には、感謝状をお贈りいたします。

二、同窓会名簿の管理
昨年度に引き続き各総代の協力を得て、宛名不明者の住所確認を行ってまいります。

三、同窓会会議室の有効利用
同窓会関係者に広報し、利用拡大を図ります。

会費納入額・納入人数の年次推移



て活動報告及び意見交換等を行い現状改革、将来の活動計画に結び付ける会議を開催。・六月の総会に新入会員と成人の代表を招待し、同窓会活動の意識向上を図りました。・第70回代・第80回代総代代表者会議を開催し、総会準備・総代会協力・会費納入等、意志統一と親睦を図りました。・七月六日(土) 第七回女性セミナー開催「フードライフバランスの向上」として31名が参加しました。身近なテーマで盛り上がりました。講師の105回卒押尾理恵さんの丁寧な指導が好評でした。・第十六回同窓会ゴルフ大会を開催し一・二名の参加が得られました。本事業の狙いである幅広い年代の皆様との交流親睦が図られ同窓会活動の意識向上に役立ちました。・十一月二十四日(日)第六回「ウォーキング学習会」を実施しました。

今回は、「2019今川義元公生誕500年」を記念して、静岡市駿府城公園を巡りました。好天にも恵まれ大いに歴史を感じ取ることができました。又、当日は沢山の寄贈をいただき大変感謝いたします。・若手の啓蒙活動の一助として

て「二十はたちの集い」の活動費用を助成いたしました。企画段階から支援を行い、同窓会活動の目的を十分理解していただきました。当日も同窓会活動に対する協力をお願いしました。一月十三日に開催され二・六名が出席。尚119回七クラスで総額三五、〇〇〇円の同窓会費納入がありました。

令和元年度静岡同窓会会計決算書並びに 令和2年度静岡同窓会会計予算書				
自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日				
(収入の部)				
費 目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	令和2年度予算額	備 考
年 度 繰 越 金	4,931,016	4,931,016	5,506,252	
入 会 会 費	2,810,000	2,810,000	2,750,000	
同 窓 会 会 費	4,500,000	3,936,000	4,000,000	
寄 付 金	300,000	300,000	300,000	クーポール会館様より
特別会計繰入金	3,800,000	3,800,000	3,800,000	特別会計より繰り入れ
周年記念繰入金	0	0	0	
雑 収 入	150,000	151,253	150,000	
合 計	16,491,016	15,928,269	16,506,252	
(支出の部)				
費 目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	令和2年度予算額	摘 要
会 議 費	830,000	842,802	10,000	
総 会 費	800,000	800,000	0	
役 員 会 費	30,000	42,802	10,000	会議資料代
事 業 費	8,500,000	7,014,200	6,320,000	
総 務 費	320,000	94,778	430,000	会議室管理費、卒業記念品、複合機リース代
組 織 強 化 費	1,050,000	1,008,673	690,000	二十のつどい、カキヤグ学習会等
広 報 費	2,000,000	2,337,133	1,920,000	会報発行、ホームページ制作等
クラブ奨励費	1,050,000	992,309	1,000,000	部活用具、指導者支援 等
教育振興費	3,000,000	1,615,840	1,600,000	選手派遣助成、課題研究助成 等
卒業生記念品費	280,000	291,940	0	
ギャラリー費	300,000	173,527	180,000	静岡ギャラリー管理費 等
周年記念積立金	500,000	500,000	500,000	
事 務 費	2,215,000	2,316,548	2,000,000	
事 務 費	1,250,000	1,242,700	1,125,000	事務局職員費
旅 費	200,000	211,040	100,000	支部大会参加旅費、連絡旅費 等
通 信 費	250,000	248,851	250,000	電話、郵送代
消 耗 品 費	120,000	42,690	100,000	事務用消耗品、トナー
印 刷 費	70,000	78,834	80,000	会費振込用紙、印刷代
慶 弔 費	60,000	231,200	100,000	冠婚葬祭費
支 払 手 数 料	220,000	215,163	220,000	会費振込手数料
雑 費	45,000	46,070	25,000	水道料 等
予 備 費	250,000	248,467	0	
計	11,795,000	10,422,017	8,330,000	
次年度繰越金	4,696,016	5,506,252	8,176,252	
合 計	16,491,016	15,928,269	16,506,252	

会 計 川 澄 真一郎
副会計 佐 藤 若 江
副会計 鈴 木 和 臣

令和元年度同窓会会計、同窓会特別会計、周年記念積立金会計の監査の結果適正に処理され、計算書類は適正であることを認めます。

令和2年6月10日

会計監査 富 田 総 一 ㊞
同 多 田 達 郎 ㊞

※同窓会特別会計、周年記念積立金会計の掲載は割愛させていただきました。
※印影は略させていただきます。

令和元年度クラブ奨励委員会報告

クラブ奨励委員会委員長 石谷 虎次郎

本年度も、同窓会の皆様には日頃より、本校部活動に対し多大なご支援・ご協力を頂き、誠に有難うございました。

令和元年度事業報告

- 一、各部活への用品等の寄付
・バドミントン部(シャトル)
・柔道部(スクリーン他)
・剣道部(竹刀・木刀)
・男子ソフトテニス部(アウ
トドアチェア・ウォーター
ジャグタンク他)
・女子ソフトテニス部(吸水
スポンジ・テニスボール他)
・茶道部(茶筌)
- 二、静商部活動外部指導者への
支援金の配布

学校より提出されたりリストにより、運動部及び文化部含め21名の外部指導者に対し支援金をお贈り致しました。

令和二年度事業計画

- 一、各部活への用品等の寄付
・情報処理
・簿記
・チアリーダー・応援
・陸上
・サッカー
以上の6部活を予定
 - 二、静商部活動外部指導者への
支援金の配布
- 学校より提出されるリストに

・社会状況をみながら実施する。
四、部活の指導者と話し合い、情報交換を行い生徒募集に協力する。

より運動部・文化部の外部指導者に支援金をお贈ります。
三、各大会の応援、練習の観戦、見学をする。

令和元年度教育振興委員会報告

教育振興委員会委員長 鈴木 雅之

令和元年度事業報告

- ◎生徒奨励事業
一、全国大会等への派遣助成
(1)全国大会
二十九名
合計 二九〇、〇〇〇円
- 水泳(10)、情報処理(15)、美術(1)、簿記会計(1)、バドミントン(2)
- (2)東海大会
一六三名
合計 四八九、〇〇〇円

- 水泳(26)、女子ソフト(8)、軟式野球(45)、硬式野球(20)、情報処理(15)、簿記会計(26)、課題研究(13)、ワープロ(10)
- 二、優秀生徒表彰
(1)学術文化功労賞 4名
〔功績概要〕学業成績優秀者・難関検定試験合格者
- (2)スポーツ功労賞 4名
・全国大会出場者

文武芸で活躍する

百二十二年の歴史と伝統に敬意

校長 金親 德行



創立百二十二年の歴史と伝統があり、静岡県商業教育の拠点校である静岡商業高校に勤務できることを幸せに思うとともに、その責任の重さを感じています。微力ではありますが、静商の更なる飛躍・発展のために教職員とともに全力で取り組んで行きますので、今後ともご支援をよろしくお願い致します。

示され、それらのテーマから研究したいものを選び、小集団に分かれ問題を解決していく授業である。
(1)支援プロセス
支援価値があるか否かを判断するために、各研究の目的や効果を伺うためのプレゼン(6/21)に参加し各研究の内容について分析↓
(2/3)研究成果発表会
一、全国大会等への派遣助成
(1)全国大会出場
未定 (例年30〜40名)
(2)東海大会
未定 (例年150名前後)
二、優秀生徒表彰
(1)学術文化功労賞
〔功績概要〕学術・文化の分野において優秀な成績をおさめたもの
(2)スポーツ功労賞
〔功績概要〕スポーツの分野において優秀な成績をおさめたもの
(3)特別功労賞
〔功績概要〕右記以外で特に功績等が顕著なもの
◎教育活動支援事業
一、難関検定合格向上への支援
(1)支援内容
外部講師の雇用助成・自学自習のためのWeb教材等の購入助成等
(2)難関検定試験名と合格状況(一内は昨年度合格者数)
①日商簿記 2級 37名(20名)
②応用情報技術者試験 1名(2名)
③基本情報技術者試験 3名(12名)
④英検 2級 9名(4名)
◎生徒主体事業への支援
一、支援対象・課題研究授業
課題研究授業とは、年度当初に様々な研究テーマが

令和二年度事業計画

- ◎生徒奨励事業
一、全国大会等への派遣助成
(1)全国大会出場
未定 (例年30〜40名)
(2)東海大会
未定 (例年150名前後)
二、優秀生徒表彰
(1)学術文化功労賞
〔功績概要〕学術・文化の分野において優秀な成績をおさめたもの
(2)スポーツ功労賞
〔功績概要〕スポーツの分野において優秀な成績をおさめたもの
(3)特別功労賞
〔功績概要〕右記以外で特に功績等が顕著なもの
◎教育活動支援事業
一、難関検定合格向上への支援
(1)支援内容
外部講師の雇用助成・自学自習のためのWeb教材等の購入助成
(2)難関検定合格目標
(一)内は前年比
①日商簿記 2級 40名以上
(昨年度37名↓1割増)
②応用情報技術者試験 2名(昨年度1名↓2倍)
③基本情報技術者試験 6名(昨年度3名↓2倍)
④実用英語検定2級 10名以上
(昨年度9名↓2桁)
◎生徒主体事業への支援
一、支援対象・課題研究授業
静商では商業の魅力が実感でき、研究が主体の授業が好評を得ている。
年度当初に様々な研究テーマ(講座)が示され、生徒はそのテーマから研究したいものを選択し、小集団に分かれる。あくまでも生徒が主体となつて、課題解決を目指す授業である。基礎的

ビジネススキルを身に付けた上で、それらを活かし、観察・発見・発想を繰り返す体験は大変意義深いため、学校と調整を図りながら必要な支援をしていく。
(1)令和二年度課題研究グループ一覧と研究概要
①「しぞーおか」地域研究
老若男女が笑顔で集まる「しぞーおか」の理想の姿を徹底追及する
②しぞおか茶応援プロジェクト
高校生ならではのアイデアで静岡茶の販売促進策を考える
③ビジネスアイデア研究
企業家を目指し、今、日本や静岡に足りない物を形にする
④NIE研究
新聞に興味・関心を持ち、ビジネスにいかに関用するかを研究する

令和元年度事業報告

- ◎生徒奨励事業
一、全国大会等への派遣助成
(1)全国大会出場
未定 (例年30〜40名)
(2)東海大会
未定 (例年150名前後)
二、優秀生徒表彰
(1)学術文化功労賞
〔功績概要〕学術・文化の分野において優秀な成績をおさめたもの
(2)スポーツ功労賞
〔功績概要〕スポーツの分野において優秀な成績をおさめたもの
(3)特別功労賞
〔功績概要〕右記以外で特に功績等が顕著なもの
◎教育活動支援事業
一、難関検定合格向上への支援
(1)支援内容
外部講師の雇用助成・自学自習のためのWeb教材等の購入助成
(2)難関検定合格目標
(一)内は前年比
①日商簿記 2級 40名以上
(昨年度37名↓1割増)
②応用情報技術者試験 2名(昨年度1名↓2倍)
③基本情報技術者試験 6名(昨年度3名↓2倍)
④実用英語検定2級 10名以上
(昨年度9名↓2桁)
◎生徒主体事業への支援
一、支援対象・課題研究授業
静商では商業の魅力が実感でき、研究が主体の授業が好評を得ている。
年度当初に様々な研究テーマ(講座)が示され、生徒はそのテーマから研究したいものを選択し、小集団に分かれる。あくまでも生徒が主体となつて、課題解決を目指す授業である。基礎的

デジタルサイネージ研究
デジタルサイネージ(電子看板)を活用した情報発信方法を研究する
⑥CM研究
人の心を動かすCMの共通点は?高校生目線で作成していく
⑦ライフ&マネー研究
夢や目標をかなえるための人生プランとマネープランを研究する
⑧SECHOファンクラブ研究
静岡FCのファンを増やす活動。今年は近隣地域を魅了する
⑨ヒット商品研究
ヒットするには理由がある。地域活性化のヒントを考察
⑩静岡産業研究
静岡の魅力を生産面から研究。地元を愛する高校生のアイデアは?

静商ギャラリー運営委員会報告

静商ギャラリー運営委員長 石田 康典

令和元年度事業報告

- ◎ギャラリー運営委員会会議
第一回委員会
・日時：平成三十一年四月
・会場：同窓会会議室
・出席者：六名
小塩菜央館長3年生、竹下京花副館長2年生、池ヶ谷先生美術部顧問、赤石会長、石垣ギャラリー副委員長
①静商ギャラリーの運営について
②「追い陽」の修復について
③「企画展」パンフレットの有効利用について
・日時：令和元年七月十二日金
16時〜17時
・会場：同窓会会議室
・出席者：七名
小塩菜央館長(3年生)、竹下京花副館長(3年生)、駒井紗香副館長(2年生)、池ヶ谷先生美術部顧問、赤石会長、石垣ギャラリー副委員長、石田ギャラリー委員長

令和二年度事業計画

- 一、静商ギャラリー運営等に関し、サポートする。
静商ギャラリー委員会活動内容
・かえるの館キャラクターグッズの作成の検討
・かえるの館入口の看板製作
・島田大井川「海野光弘記念館」見学の検討
・海野光弘記念館の管理
館長 駒井紗花3年美術部
東原綾花3年美術部
宮永可愛2年美術部
二、「追い陽、縁遠し」の掲示場所の検討及び変更
三、「企画展」パンフレットの有効利用を学校と協力
四、委員会開催予定
六月、八月、十一月、三月

- ⑤デジタルサイネージ研究
デジタルサイネージ(電子看板)を活用した情報発信方法を研究する
⑥CM研究
人の心を動かすCMの共通点は?高校生目線で作成していく
⑦ライフ&マネー研究
夢や目標をかなえるための人生プランとマネープランを研究する
⑧SECHOファンクラブ研究
静岡FCのファンを増やす活動。今年は近隣地域を魅了する
⑨ヒット商品研究
ヒットするには理由がある。地域活性化のヒントを考察
⑩静岡産業研究
静岡の魅力を生産面から研究。地元を愛する高校生のアイデアは?

- ①今年度の事業計画、進捗状況
②海野記念館の見学について
③「追い陽」の展示場所の検討
④10月より新体制として活動する
⑤在校生に「カエルの館」の認識度アップのための方策及び利用実態
第三回委員会
・日時：令和元年十一月十四日水
16時〜17時
・会場：同窓会会議室
・出席者：六名
①第2回の協議内容について再度確認
②「カエルの館」の認識度アップのための具体的試み
③北川民次絵画、贈呈式及び講演会について
《北川民次絵画関係》
一、北川民次絵画を学校に贈呈するために、瀬戸市訪問
・日時：2019年11月9日(土)
・会場：瀬戸信用金庫アート
ギャラリー、北川民次アトリエ、瀬戸市美術館
・参加者：赤石同窓会長、中澤学校長他5名

- ①瀬戸市美術館長服部文孝氏に講演のお願い
②北川民次絵画を鑑賞
二、北川民次絵画を学校に贈呈するための事前打合せ
・日時：令和元年十一月十一日水
13時30分〜14時30分
・会場：同窓会会議室
・出席者：四名
赤石会長、東海林副校長、石垣ギャラリー副委員長、中山事務局長
①「静商ギャラリー看板」設置場所(正面玄関)の確認
②北川民次絵画、贈呈式及び講演会に伴う当日の運営・役割分担の確認
③目録及びパンフレットの作成
④出席者の確認
三、北川民次絵画、贈呈式及び記念講演会開催
・日時：令和元年十二月十八日水
10時〜15時
・会場：静岡商業高校、同窓会会議室
①贈呈式
来賓：学校関係者、同窓会関係者 三十六名出席
②記念講演会
全校生徒、教職員、同窓会関係者 約九〇〇名聴講
③座談会
④「北川民次との会話」パンフレットの配布(全校生徒、職員、関係者)
⑤「静商ギャラリー看板」の設置
令和二年度事業計画
一、静商ギャラリー運営等に関し、サポートする。
静商ギャラリー委員会活動内容
・かえるの館キャラクターグッズの作成の検討
・かえるの館入口の看板製作
・島田大井川「海野光弘記念館」見学の検討
・海野光弘記念館の管理
館長 駒井紗花3年美術部
東原綾花3年美術部
宮永可愛2年美術部
二、「追い陽、縁遠し」の掲示場所の検討及び変更
三、「企画展」パンフレットの有効利用を学校と協力
四、委員会開催予定
六月、八月、十一月、三月

◎会費の、納入にご協力をお願いします。 便利な自動口座振替をご利用ください。 詳しくは 同窓会本部 054-221-7030まで

◎同窓会ホームページをリニューアルしました。掲載料無料の卒業生の企業やお店の紹介コーナーもあります。掲載ご希望の方は本部までご連絡ください。

同期会・同期生短信

ご寄贈

◎故第33回卒石月昌治氏のご遺族より昭和9年卒業アルバムをご寄贈いただきました。



◎故第37回卒山口千吉郎氏のご遺族より昭和13年卒業アルバムをご寄贈いただきました。



ありがとうございます。

辰巳会

(第60回・昭34年卒)
令和元年度の静商辰巳会は、令和元年十一月十六日(土)午前十一時五十分より、



静岡クーポール会館に於いて開催しました。

開式の挨拶で、林秀男会長より昨年の六月八日に行われた静商同窓会定時総会に於いて、辰巳会が会費納入優秀回期の代表で表彰を受けたことの報告があり、同日開催された記念講演会では、岩崎恭子

さんが「水泳を通じて得た人の縁の大切さについて話されたことを例にあげ、「静商」二文字のこの「縁」を会員が大切にしているからこそ、この団結力がある。この気持ちをもち続けよう」と話された。

令和二年は十一月十四日(土)開催。八十歳を迎え「傘寿の祝い」の開催になります。お互いに健康に留意し元気で過ごしましょうと三本締めで閉会しました。(望月 勝)

前辰巳会会長であり前同窓会長でもあった平野健一君が、令和二年九月二十二日ご逝去されました。平野君は卓越したリーダーシップを発揮され、辰巳会を引っ張ってこられました。もはや貴君に会うことが叶わないと思うと、ただただ残念でなりません。

辰巳会一同衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌
辰巳会会長 林 秀男

第63回卒

昭37年3月卒
私達六十三回生は、昭和三十七年に卒業。六十歳を迎え



第10代会長 桜井武雄氏

第11代会長 平野健市氏



第11代会長 平野健市氏

二つの巨星墜つ

第10代同窓会長 桜井武雄氏

偉大なる先輩を偲ぶ 同窓会長 赤石 文男

平成十一年より平成十八年の八年間、同窓会長を務められた、桜井武雄様が令和二年五月十六日ご逝去されました。

桜井会長は、百周年記念事業が終わった翌年会長に就任。それまで同窓会の執行部の活動とは無縁でしたが、古武士的な佇まいから毅然とした態度で同窓会をまとめ上げ指針を示して戴きました。

「静商同窓会教育振興基金管理・運営委員会」は桜井会長の下でスタート。「全同窓生の努力によって集めら

れた基金だからその重みを中心に刻む」ことを運営の柱に据え尽力されました。温厚な人柄は多くの人々に慕われていました。(合掌)

平成十九年より平成二十八年の九年間、同窓会長を務められた平野健市氏が、令和二年九月二十二日ご逝去されました。

平成十七年、静商硬式野球部後援会初代会長に就任。翌年夏には三十二年ぶりの甲子園出場を果たし、平成二十年、創立百周年事業の一環として、硬式

赤石同窓会長が同窓会を代表して桜井武雄、平野健市両氏の御霊に献花を捧げご冥福をお祈り申しあげました。



令和元年度 同窓会会費 卒別別納入一覧

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

卒業回	目標額(円)	納入人数(人)	金額(円)	卒業回	目標額(円)	納入人数(人)	金額(円)
第2種 昭5				通算第89回全40	5	16,000	
第36回 2種				通算第90回全41	2	4,000	
第37回 1種				通算第91回全42			
第38回 2種	2	10,000		通算第92回全43	3	6,000	
第38回 1種				通算第93回全44	2	4,000	
第39回 2種	2	4,000		通算第94回全45	1	2,000	
第39回 1種				通算第95回全46	1	2,000	
第40回 2種	4	32,000		通算第96回全47	4	8,000	
第40回 1種				通算第97回全48	1	2,000	
第41回 2種	2	8,000		通算第98回全49			
第41回 1種				89回～98回合計	19	44,000	
第42回 2種	3	6,000		通算第99回全50	3	6,000	
第42回 1種				通算第100回全51			
第43回 2種				通算第101回全52	5	14,000	
第43回 1種	50,000			通算第102回全53	2	4,000	
第44回 回	4	18,000		通算第103回全54	3	10,000	
第45回 回	6	12,000		通算第104回全55	1	2,000	
第46回 回	1	2,000		通算第105回全56			
第47回 回	3	8,000		通算第106回全57	1	2,000	
第48回 回	6	12,000		通算第107回全58	1	2,000	
二商併中	1	6,000		通算第108回全59			
第49回 回	7	14,000		通算第109回全60	2	4,000	
通算第50回全1	2	6,000		通算第110回全61	1	2,000	
通算第51回全2	2	6,000		通算第111回全62	1	2,000	
通算第52回全3	16	47,000		通算第112回全63	2	4,000	
通算第53回全4	18	60,000		通算第113回全64			
35回～53回合計	79	251,000		通算第114回全65			
通算第54回全5	34	92,000		通算第115回全66			
通算第55回全6	66	197,000		通算第116回全67	2	4,000	
通算第56回全7	25	67,000		通算第117回全68	2	4,000	
通算第57回全8	54	158,000		通算第118回全69	4	8,000	
通算第58回全9	71	233,000		通算第119回全70	5	45,000	
54回～58回合計	250	747,000		通算第120回全71	7	14,000	
通算第59回全10	34	92,000		99回～120回合計	42	127,000	
通算第60回全11	66	197,000		定時制課程の部			
通算第61回全12	25	67,000		通算第53回定1	1	6,000	
通算第62回全13	54	158,000		通算第54回定2	1	2,000	
通算第63回全14	71	233,000		通算第57回定5	2	4,000	
59回～63回合計	250	747,000		通算第58回定6	1	2,000	
通算第64回全15	31	68,000		通算第59回定7	2	6,000	
通算第65回全16	59	244,000		通算第58回定6	1	2,000	
通算第66回全17	91	209,000		通算第59回定7	2	6,000	
通算第67回全18	55	132,000		通算第60回定8			
通算第68回全19	51	160,000		通算第61回定9			
通算第69回全20	40	92,000		通算第62回定10			
通算第70回全21	38	92,000		通算第63回定11	2	4,000	
通算第71回全22	125	257,000		通算第64回定12			
通算第72回全23	45	108,000		通算第65回定13			
通算第73回全24	23	50,000		通算第66回定14	1	2,000	
通算第74回全25	103	151,000		通算第67回定15	2	4,000	
通算第75回全26	10	30,000		通算第68回定16	1	4,000	
通算第76回全27	18	44,000		通算第69回定17	3	6,000	
通算第77回全28	25	62,000		通算第70回定18	1	2,000	
通算第78回全29	107	224,000		通算第71回定19	1	2,000	
64回～78回合計	821	1,923,000		通算第74回定22	1	2,000	
通算第79回全30	65	134,000		通算第78回定26	1	2,000	
通算第80回全31	11	27,000		通算第90回定38	1	2,000	
通算第81回全32	5	10,000		通算第91回定39	1	2,000	
通算第82回全33	7	16,000		通算第96回定44	1	2,000	
通算第83回全34	9	36,000		通算第97回定45	1	2,000	
通算第84回全35	5	13,000		通算第98回定46			
通算第85回全36	10	26,000		定時53回～98回合計	27	64,000	
通算第86回全37	10	30,000					
通算第87回全38	2	8,000					
通算第88回全39	3	6,000					
79回～88回合計	127	306,000		総 合 計	1,526	3,936,000	

とは違う雰囲気同期会となりました。四年後は、いよいよ記念すべき第十回となり、その二年後は、静商全体の定時総会で私たち学年が、当番幹事をやることとなります。

す。今後も同期生達と盛り上げて行きたいと思っております。

▼連絡先
昭和五十八年度卒静商同窓会
会長 伊東範幸



頑張る卒業生 伊藤通明氏

伊藤通明氏は、静岡市葵区駒形通りの日蓮宗感應寺のご住職です。

は、感應寺境内には、静商第40回卒、第41回卒の物故者の忠霊碑があり、伊藤氏は、永年その忠霊碑を維持され、現在も毎朝お経を唱えておられます。

過日、赤石会長、山本幹事

大正十三年倉長寺で出生。静商第40回卒(昭和17年)立正大学卒。

昭和四十年感應寺第五十二世住職に就任

日蓮宗中部宗務所長はじめ身延山久遠寺重職を歴任。天皇賜杯銀盃受賞はか多くの賞を受賞されました。



前左より赤石同窓会長、花村氏、伊藤氏、後列山本同窓会幹事長

でも両替町を楽しまれていられるお話には元気をいただきました。

(伊藤通明氏略歴)

吹き飛ばしたり、今

石

同窓会事務局 Eメール: honbu@seisho-dosokai.com

電話 0541-2211703 FAX 0541-2211703

同窓会事務局



静高119回卒業生「二十の集い」

二〇二〇年一月十三日(祝)クール会館にて第119回卒業生「二十(はたち)の集い」を開催。

来賓、恩師の方々そして同期の仲間たち約二四〇名の参加者達に支えられ「二十の集い」は大成功に終わることができました。

多くの出席者から「楽しかったよ」と声をかけていただきとてもうれしかったです。私もとても楽しかったです。改めて静商のあたたかさや絆に触れ学生時代に戻りたくなりました。

また、会う日まで静商パワーをそれぞれの地で発揮して頑張りましょう。

当日はご多忙の中、ご出席いただきました同窓会役員並びに恩師の皆様にご心よりお礼申し上げます。この会を支えてくれた仲間にも感謝を申し上げます。

▼幹事 第119回卒 長島由季

第15回静商二十の集い

北川民次画伯の世界

第12回(大正2年)卒業



北川民次「風景」油絵

赤石文男同窓会長が寄贈!!

静商ギャラリーに新たな作品群

同窓会より、静岡商業高等学校に北川民次画伯の油彩画(作品題名「風景 写真左」一点、リトグラフ十四点が寄贈され、贈呈式並びに記念講演、瀬戸市美術館服飾館長との懇談会が開かれた。

赤石文男同窓会長は、北川民次作品を、静商同窓会に右記の作品群を寄贈。同窓会はその全作品を静商ギャラリー充実のため、静岡商業高等学校に寄贈した。

令和元年十二月十八日、贈呈式並びに記念講演会が開催され、作品が披露された。

【贈呈式】

ご来賓、学校関係者、同窓会関係者四十名



母校玄関にて、関係者約40名が出席して贈呈式が行われた。

出席のもと、同窓会赤石会長、石田静商ギャラリー委員長より、中澤校長、静商ギャラリー

かえるの館・駒井館長(3年)に北川民次作品が贈呈された。

【静商ギャラリー看板】

贈呈式に伴い、静商ギャラリーの看板が、作品と共に学校玄関に設置されました。

【記念講演会】

演題「北川民次の凄さ」

講師・瀬戸市美術館

館長 服部文孝様

静商体育館にて、全校生徒、教職員、同窓会員 九百名が出席、聴講した。

服部館長は、北川民次氏のメキシコでの作品の紹介、また瀬戸市に移住してからの精力的な創作活動や、作品につ

女子バスケットボール部を訪ねて

今年一月に市立沼津高校体育館で開催された「静岡県高等学校バスケットボール新人大会」一回戦、65-75で沼津中央高校に負けてしまった。この瞬間、部員は次の高校総体に向け、悔しさを雪辱に燃える心に変えていました。

二月後半からの新型コロナウイルス感染症の影響で、三月二日の卒業式は規模を縮小して開催されたものの、三月十九日からは学校が臨時休業、当然部活動も禁止になりました。練習も出来ず、父母会長からは「子供達がチームで練習できないことは痛すぎ。」のラインを筆者のところへもいただきました。



静岡県高等学校バスケットボール新人大会

トボールは検討されませんでした。五月二十五日に学校が、六月一日から部活動再開が決まりましたが、三年生は最終学年の強い思いを持ちつつ、世代交代の時期を迎えてしまいました。本年度最終公式試合の選手権大会(ウィンターカップ)に三年生が何人参加するか、二年生、一年



左上の「J=108」がメトロノーム記号で、1分間にJを108回の速さで演奏することを指示したものである。(楽譜は昭和9年の卒業アルバムより転載)

校歌になぞあり...その2

「J」の謎

平成二十六年発行第二十六号同窓会報に「校歌になぞあり」という記事を掲載した。

今回は、テンポについての「なぞ」である。「今のテンポは遅いのでは」と指摘するのは、大津哲治氏(第56回卒総代)である。

大津氏は、昭和二十九年母校野球部が夏の甲子園で準優勝した時の応援団長で、体にテンポが染みついている。同窓会の総代会など機会あるごとに校歌斉唱の指揮を任されるがその度に「何かしつくりとこない」と感じていたという。

関西支部支部総会に来賓として招待された際、富坂誠二幹事長(当時、現支部長)に校歌斉唱の指揮を依頼された。「今の校歌は、テンポが遅くなっているような気がするが、富坂どう思う」と聞くと「実は俺も」と彼も同じことを感じていた。

富坂氏は昭和三十年三月卒。大津氏と同期で音楽部出身。卒業後関西に在任し、校歌に触れる機会はなくなくなった。関西支部が再興されたのを機に校歌を、聞いた歌ったりする機会が次第に多くなった。多くなるにしがたがって「何となく違うのでは」

との思いも強くなってきたと言う。

何年か過ぎたとき大津氏から「静商百周年記念史」に「校歌制定の記事があり、楽譜も載っているのを見てくれ」との連絡を受けた。

早速、ページをめくると楽譜の左上にメトロノーム記号が書かれていた。「胸が高鳴った。妻と出会った時以来の高鳴りである。」と楽譜との「出会いの感動」を冗談を交えて語ってくれた。

大津氏と富坂氏は、この事実から「校歌についての考察」としてA4四枚に考えをまとめた。

その一部を紹介すると「旋律は、一拍を「波メロ」の波(ウエーブ)にふさわしく表現するために、言葉にすると「タータ」を基調として、最初から最後までこの波を示す旋律で通している。

この波を表現するリズム(拍子)は、快活性、積極性などがよく心に響くべく、行進曲風の

リズムである2/4拍子の構成である。

更に、テンポ(速さ)は波の表現が核心である為に、校歌の意とする表現に最もふさわしい「J=108(1分間に4分音符を108回)の速さで演奏して歌うべき」と指示している。

作曲家がテンポあるいは音の強弱などを具体的に指示することは、自作曲に対して強い思い入れがあるかどうかの判断基準ともいえる。」と書かれている。

この「校歌についての考察」は、両氏から同窓会に出された。同窓会長の力添えで、学校側に提出。校長、音楽部顧問、先生方の理解も得られて、今年の二月から原曲通りの「J=108」のテンポで演奏されている。

大津、富坂の両氏は、「校歌らしい元気の出るテンポで演奏されたことは、とてもうれしい」と語った。両氏の母校を愛し、母校を偲ぶ真摯な思いが実を結んだ。(飯)



全校生徒・教職員・関係者が出席して、記念講演会が開催された。(母校体育館にて)

会より出席者全員に『静商：歴史と文化の足音 北川民次との会話』が資料として配られました。

【懇談会】

講演会終了後、同窓会会議室にて服部館長を囲んでの懇談会が開催されました。

出席者からは、改めて北川民次氏が偉大な先輩であることを再認識したとの多くの声が聞かれました。

また、出席されていた岩崎芳生氏からは、メキシコ時代の作風・帰国後の作品を詳細に説明いただきました。

最後に、服部館長より、北川氏の母校が静商であった事、そして静商が歴史ある学校ということを再認識されたとの講評で、懇談会は閉会となりました。

第17回同窓会 ゴルフ大会

優勝 岡島 隆氏(第70回卒)
優レ イース 芝原辰子氏(第77回卒)
優勝



優勝した岡島隆氏。同窓会長よりトロフィーが授与された。



同窓会長より表彰されるレディーズ優勝の芝原辰子氏。

組織委員会主催による同窓会ゴルフ大会が十月二十一日(水)リバー富士CCで一〇四名の参加者により開催された。コロナ禍の下、開催が危ぶまれたが、マスク、手消毒・検温を実施、三密を避るなど徹底した感染防止策を図り開催した。当日は快晴の下、まさにゴ

赤石文男会長(65回)、伊藤副会長(69回)、関原副会長(77回)、山本幹事長(83回)、河口元総務委員長(61回)八千代寿し鐵、大塩正一(63回)イナウロコ、佐野敏夫(63回)千代田吉野館大塩一義(68回)鈴木精肉店鈴木輝男(72回)バブ煖 吉田順子(73回)、入船館川澄真一郎(77回)待月楼八木章夫(79回)昇菊両角昇吾(83回)、中山事務局局長76回、岡本政俊ゴルフ長(62回)、古牧組織委員長(71回)(敬称略・順不同)